

工事用の壁をなにかに利用できないでしょうか？

いま下北沢の駅前には、工事中の敷地を囲う白い壁がたくさんあります。安全に歩行を誘導するその壁を、有効に活用できたらいいと思いませんか？

壁を利用することで、街のみなさんへのイベントのお知らせやアートの表現の空間にするなど、工事がしばらく続く間も、シモキタらしいのにぎわいの空間が、生み出せるかもしれません。

※ 工事管理者の許可を前提とします。

あたらしい道と既存の道が出あうところ

どんな風につながるとよいのでしょうか？横断歩道はあるの？信号は？子供やお年寄りや障害のある方、みんなが安全に通れるデザインは、どんなのがいいでしょう？

商店街への搬入業者などの車は必要です。歩くことそのものがたのしいシモキタの歩行空間と、あたらしい道路のあり方を、お互いの機能を両立させながら、考える必要がありそうです。

ちいさな空き地の暫定利用の可能性

あたらしい道ができる過程で、切り取られるように小さな三角の土地などが生まれそうです。お店を建てることもできなような空き地。たとえばベンチや緑で演出するなどして、魅力的な歩行空間を演出するような、ちょっとした公共のスペースとして活用できないでしょうか？工事の状況に合わせた、フレキシブルな利用の可能性が考えられるかもしれません。

※ 図示は、ワーキングでの仮想のもので、予定されたものではありません。

わたしたちは、**駅広部会（北沢 PR 戦略会議）**です。

北沢 PR 戦略会議は世田谷区街づくり課が企画した市民参加のワーキンググループです。駅広部会はその中のひとつの部会です。

活動趣旨

現在・そして未来を踏まえた、シモキタにふさわしい駅前広場の実現を目指し、これまでのワークショップなどの成果を踏まえ、地元商店街、住民、行政、所管官庁などともに協働を働きかけ、リサーチし、**アイデアを出し**、関心を寄せるたくさんのみなさんへ向けて、発信していきます。

シモキタらしさ

さまざまなひとが共存し、ひとつの「らしさ」とらわれない**多様性**こそが、シモキタの魅力なのでは？その魅力の中心にふさわしい、駅前広場を。

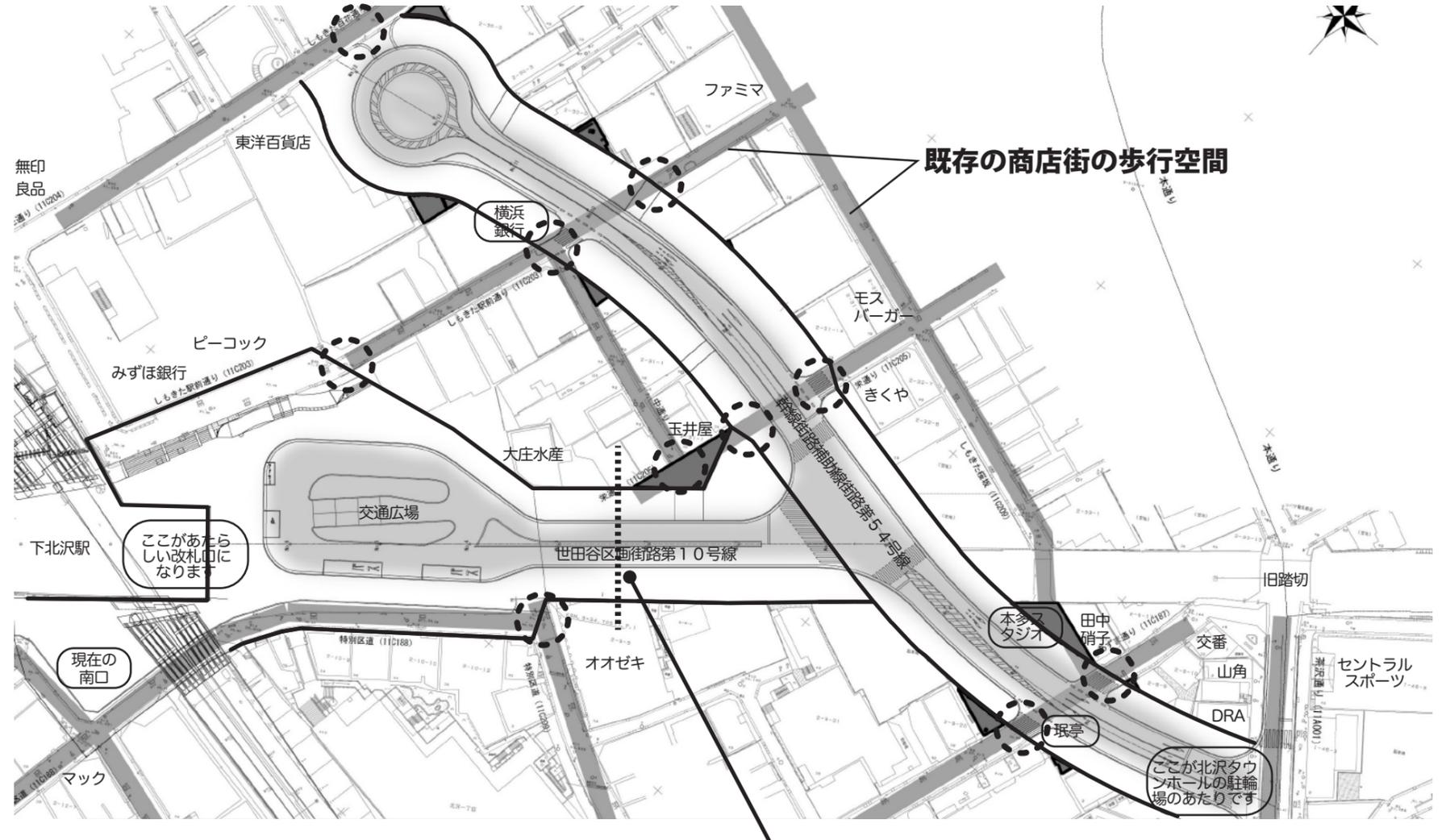
シモキタらしい手法

シモキタだからこそ出来る**大手開発主導型**ではない、さまざまなグループ・団体が**横に連携する**ほんとうの協働の動きを探します。

未来へ残す

子どもたちへの環境づくりをまず第一に考え、未来へつながるように街全体で共有していきたいです。

みんなで知恵を出しあい、一緒によいものをつくっていきませんか？



小田急電鉄のHP「シモチカナビ」で工事の詳細を知ることができます。どうぞ、ご参考に。

http://www.shimochika-navi.com/99_backnumber/index.html

このペーパーでは、工事の状況を知っていただくために駅前広場より少し広い範囲の課題を取り上げています。街の課題には、工事中の状況であられるもの、完成した後にあられるものなど、様々な場面が考えられます。それぞれの場面の詳細をここではお伝えできませんが、これからもペーパーやHPを通して、発信をしていきます。

シモキタテーブル vol. ゼロ

発行：駅広部会—北沢 PR 戦略会議 2017.06.18

<http://shimokita-table.com/>



区画街路第10号線の高低差

かつての線路があった場所があたらしい区画街路10号線になります。この土地は左右で70cmほどの高低差があります。もしここを歩行者天国にして、お神輿や盆踊りなどイベントの時に広く使うためには、それに対応できるように道路をデザインしておく必要があります。さあ、シモキタらしいデザインの腕の見せ所です。いろんな解決策がありそうです。